

「『オール福山』『バイ福山』で郷土福山を元気にする！」をキャッチフレーズに

商工会議所の三つの使命、「政策提言」「中小企業等の活力強化」「地域経済の活性化」に取り組む！！

基本方針

- 現場の生の声に耳を傾けた、会員事業所に寄り添った支援
- SDGs 17の目標を見据えた事業や活動の展開
- 創立100周年に向けた持続可能な福山商工会議所の構築

主要事業・活動

- I. 現場の生の声を反映した意見・要望活動
- II. 中小企業・小規模事業者に寄り添った支援の強化
- III. 中小企業の人材・人手確保支援と企業情報の発信強化
- IV. MICE環境の整備と観光振興
- V. 中心市街地の活性化
- VI. 当所運営基盤の充実・強化

I. 現場の生の声を反映した意見・要望活動

～現場の声の集約と行政等関係機関との緊密な連携～



(1)意見・政策提言活動

①国・県・市への要望活動

地域経済活性化の観点から、福山道路整備促進や福山港機能強化などの産業インフラの整備促進を国・県・市に対し要望する。また、企業活動の活性化を促す環境を整備するために、税制改正に関する要望に加え社会経済情勢に応じた課題について、現場の生の声を集約し意見・要望活動を展開する。

②一般国道2号福山道路・神辺水呑線整備促進期成同盟会への参画

備後圏域のさらなる経済発展と、住民の日常生活の利便性向上ならびに地域の安全・安心を確保するため、「福山道路」「福山沼隈道路」「神辺水呑線」の早期整備を目指し、福山・三原・尾道・府中・竹原・笠岡・井原市、世羅・神石高原町、7市2町の行政・議会・経済界の代表者により設立された同期成同盟会に参画し、関係機関への提言活動、整備促進及び新規事業化を目指す。

- 一般国道2号福山道路等の整備
- 神辺水呑線の高架化整備



▲岸田前総理大臣(R7.6.12)

▲小林衆議院議員(R7.6.12)

▲宮澤参議院議員(R7.11.7)



▲金子国土交通大臣(R7.11.7)

▲湯崎広島県知事(R7.11.25)

▲山下広島県議会副議長(R7.11.25)



③福山港内港地区の埋立に関する要望活動

内港地区の埋め立てにより、新たな産業用地の確保や国道2号等の交通渋滞の緩和、大学用地等、さまざまな活用が期待され、福山市の経済発展や地域活性化にもつながる埋め立ての早期実現を目指す。



▲内港の土質調査

④経済行政懇談会

当所、福山市、福山市議会のトップが出席し、当地域における課題の共有、活性化策についての意見交換、中小企業・小規模事業者の生の声に基づいた要望活動を行う。



(3)創業支援

地域を持続的に発展させるため創業機運を醸成し、創業塾や特定創業支援事業など窓口相談において計画策定や、課題解決を支援し創業の促進を図る。



①創業塾の開催

②特定創業支援事業

③創業フォローアップセミナーの開催

(4)デジタル化支援

当所情報化推進委員会とも連携し、デジタル化支援体制を強化する。中小企業・小規模事業者の販路開拓や生産性の向上を図っていくため相談窓口を運営するとともに、専門家派遣によるプッシュ型の課題解決を推進する。また業務効率化に繋がるデジタルツールの活用方法をテーマに、活用事例など情報共有する場となるデジタルツール座談会を開催する。さらには、企業防衛の観点からサイバーセキュリティに関する啓発を図る。

①小規模事業者等デジタル化支援事業

②デジタルツール座談会の開催

③サイバーセキュリティに関する啓発事業【新規】

④生成AI活用講座の開催【新規】



II. 中小企業・小規模事業者に寄り添った支援の強化

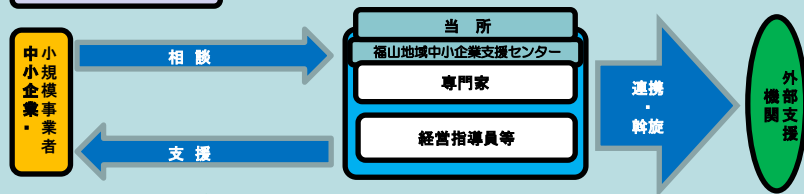
～「販路開拓支援」「デジタル化支援」「伴走型支援」～



(1)経営相談の強化、成功事例の創出並びに支援策の周知

- ①巡回および窓口による経営相談、支援策の周知(経営指導員・補助員)
- ②事業環境変化に対応した経営相談、支援策の周知(専門家、経営指導員・補助員)
- ③福山地域中小企業支援センターによる専門家相談(税理士、中小企業診断士、社会保険労務士、IT・EC・Webマーケティング専門家ほか)
- ④青年部と連携した成功事例の創出
- ⑤ホームページに支援情報を集約して周知

経営相談イメージ



(2)金融支援

小規模事業者経営改善資金(マル経融資)の活用による経営改善支援に引き続き注力するとともに、新型コロナ関連融資の返済に加え、新たな経営課題に直面し資金繰りに課題を抱える中小企業・小規模事業者に対しては、引き続き動向を注視し、金融機関とも連携を図りながら適切な支援を展開する。

- ①小規模事業者経営改善資金(マル経融資)の活用による経営改善支援
- ②日本政策金融公庫並びに金融機関との連携による金融支援

(5)伴走型支援

新たに認定された「経営発達支援計画(第4期)」(計画期間:令和8年度から令和12年度)に基づき、小規模事業者の経営リテラシー向上を支援し、事業者自身の自走化に向けた伴走型支援に取り組む。



経営指導員・補助員が伴走

事業者に職員が寄り添い伴走



(6)販路開拓支援事業

令和4年度より継続して実施している「商品開発プロモーション支援事業」を発展させ、伴走型支援により発掘した意欲ある小規模事業者に対し、専門家による商品のブラッシュアップやプロモーション支援、大規模展示会・即売会などへの出展支援を行い、一連の事業を集中的に投入することで、小規模事業者の「稼ぐ力」の向上と、成功事例の創出を目指す。

- ①販路開拓セミナー等の実施
- ②大規模展示商談会への出展



▲販路開拓セミナー

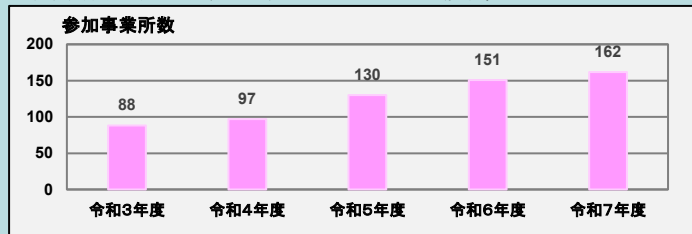


第101回東京インターナショナルギフト・ショー

(7) 商談会・ビジネスマッチング

① ビジネス交流フェア

ビジネスチャンスの発掘を目的とした「ビジネス交流フェア」を開催する。商談のみではなく、様々な業種との交流や情報交換の要望に応え、ビジネス機会の創出を図る。



② CCIネットワーク出展支援事業(新規)

これまで交流事業を行った松本、諏訪両商工会議所をはじめ、全国516商工会議所とのネットワークを生かし、各地で開催される展示会・商談会に会員事業所の出展を促し、販路開拓を促進する。



▲ビジネスチャンスEXPO in TOKYO

(2) 採用情報の発信を支援

「就活応援ラジオ」で採用情報を発信

福山大学・福山平成大学・福山市立大学と連携し、地元企業の採用活動支援として、就活生目線による採用情報や企業概要等を「就活応援ラジオ～輝く地元企業で働こう！～」としてエフエムふくやまで放送するとともに、YouTube等SNSも活用し広く発信する。



(3) 教育による人材育成支援

研修・セミナーで人材育成を支援

新入社員から管理職までを幅広く対象とした、研修・セミナーを開催し、社内人材の育成を支援する。令和8年度は傾聴力や雑談力等のビジネスコミュニケーション能力の向上を目的に「傾聴力養成講座」の開催や、従来から好評を得ている企業の女性管理職や女性リーダーを育成することで職場の活性化を目指す「女性リーダー研修」を開催する。また、生成AIの活用や業務効率化など、経営者、従業員の枠組みを超えた時機に即したテーマを開催し、人材力の向上を支援する。



▲「女性リーダー研修」



▲「管理者セミナー」

○ 傾聴力養成講座【新規】

○ 女性リーダー研修

○ 新入社員研修

○ 働き方改革など人事労務に関するセミナー

○ 若手社員研修

○ 管理者研修

(4) 多様な人材確保・育成と柔軟な働き方支援

外国人留学生や退職予定自衛官の地元企業への就職、採用を促す合同企業説明会、セミナー、情報交換会等を開催するとともに、外国人材の日本語能力向上による、受入れ・共生の支援により、人材不足解消、生産性向上に資する。また、高齢者や障がい者雇用促進、女性活躍推進、働き方改革など総合的な人手不足解消支援を行う。



▲外国人労働者向け日本語教育講座

○ 外国人留学生採用強化・日本語能力向上支援

○ 外国人材確保支援事業

○ 退職予定自衛官雇用に関する事業



▲自衛官による業務説明

Ⅲ. 企業の認知度向上による人材・人手確保と人材育成支援 ～企業の魅力発信と研修・セミナーによる人材育成支援～



(1) 企業の魅力発信と認知度の向上

① インターネットでの企業情報発信の強化

地域の有力企業、オンリーワン・ナンバーワンを持つ企業、また、SDGsの取り組みや、女性が働きやすい環境整備、障がい者雇用などグリーンな取り組みを行う企業をインターネット上で発信し、イメージ向上と認知度向上を図る。

○ 「グリーンな企業プラットフォーム」の推進

○ 「就活応援サイト」掲載企業の充実

○ 「オンリーワン・ナンバーワン企業紹介ページ」閲覧数向上

○ SDGs取組み企業紹介の推進

② 見学や交流で企業の認知度を向上

市内高校の進路指導教員を対象に職場環境や採用活動について、見学を通じて進路指導に活用していただく。また、㈱マイナビ・福山市と連携し、中高生が地元企業を研究し、魅力を学ぶことで地元就職につなげる。

○ オンリーワン・ナンバーワン企業等見学会

○ フィールドスタディ「ローカス」



▲「就活応援サイト」



▲グリーンな企業プラットフォーム

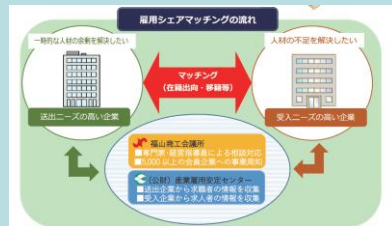


▲フィールドスタディ「ローカス」企業研究

(5)他団体と連携した人材紹介

福山市と連携し新規卒業者・既卒者対象の説明会等の開催や東京商工会議所主催の情報交換会への参画を通じた地元企業と主に首都圏の大学との情報交換会の場の提供。また(公財)産業雇用安定センターとの雇用協定に基づく事業の展開など、他団体とも連携し人材・人手確保の支援を展開する。

- 若年者就労支援事業
- 雇用シェア促進事業



▲他団体との連携協定による事業の一例

(3)地域資源の活用

①地域産業魅力発信事業【新規】

福山琴、松永下駄、鞆保命酒、びんご畳表、備後餅の5つの伝統産業の販路拡大、後継者育成、普及推進等総合的に支援することで、伝統産業の継承と業界の活性化へと繋げる。また、食、自然、歴史、観光資源などの地域資源と伝統産業を組み合わせた新市場の開拓及び戦略的な情報発信により、地域全体のブランド力向上と地域経済の活性化を図る。

○伝統産業の後継者育成支援に関わる調査研究と啓発事業の実施

②福山ワイン振興事業

- 「備後福山ワイン振興協議会」の活動を核として、備後・福山産ワイン等のさらなる認知度向上、消費拡大、販路開拓、情報発信強化に努める。
- 桜酵母を活用したワイン「さくら」のPR促進に努める。
- 備後圏域でのワイン振興の機運醸成に向け、備後圏域近郊のワイナリーを巡る体験型観光バスツアー等の実施・商品造成を推進する。



▲福山ワイン「さくら」

IV. 観光振興と経済交流の促進

～地域資源を活用した都市魅力の向上とネットワークを通じた経済交流の促進～



(1)MICE環境整備及び情報発信事業の推進

2025年に開催された「第20回世界パラ会議福山大会」を機に、引き続き、MICE環境整備及び情報発信強化に取り組み、業界団体等の会合誘致の推進を図ることで、福山の観光・産業の振興を含めた地域全体の経済の活性化につなげる。



▲福山城陣幕パーティー

▲MICE施設(ビッグローズ)

▲「世界パラ会議福山大会」

(2)観光振興

福山城、鞆の浦、ホロコースト記念館などの歴史的・文化的価値の高い観光資源を戦略的に発信し、国内外から観光客誘致、MICE誘致を図ることで、地域経済の活性化を推進する。また、「鞆の浦」を舞台に現代アート展「鞆の浦 de ART」を実施する。



▲鞆の浦

▲「鞆の浦 de ART2025」

(4)経済交流の促進

①広域商工会議所交流促進事業

福山、北九州、倉敷、姫路、松本の各県第2都市、工業都市、歴史的建造物があるなど類似する特色がある都市の5商工会議所で構成する「広域都市連携」に参画し、意見交換、先進事例の共有、展示会やビジネス商談会等への相互参加などの事業連携に取り組む。

②国際交流の推進

令和6年10月に覚書を締結したリアニア共和国カウナス商工会議所と経済・教育・文化等の交流を促進し、経済交流の一助とする。また、マウイ日本人商工会議所との友好提携に基づき、訪問団派遣など相互交流を促進する。

③会議所間交流促進事業(新規)

全国516商工会議所とのネットワークを生かし、地域の特性や課題に即した取り組みを調査し、当所事業への反映と事業者間の交流を促進し、ビジネスネットワークの構築・強化を図る。



▲「空飛ぶクルマ(eVTOL)」



▲カウナス・シャウレイ両商工会議所訪問団とのBtoB商談会



▲福山・信州経済交流懇談会



▲福山・信州経済交流視察



▲マウイ郡議会を表敬訪問

V. 中心市街地の活性化と地域の拠点づくり ～活気とにぎわいのある都市空間づくりと地域が主体となって取り組む拠点づくりの支援～



(1) 魅力ある中心市街地の形成

福山市と共同で中心市街地(主に福山駅周辺やその周辺商店街地域)の活性化に資する事業を展開するとともに、当該エリアの価値向上に向けたエリアマネジメントに取り組み、都市機能の向上や地域経済の活性化を目指す。

(2) にぎわいのある都市空間づくりの推進

① まちなかエリア魅力向上推進事業

- エリアマネジメントの調査・検討(先進地視察等)
- 商店街活性化・環境整備等支援事業
- リノベーションまちづくりに資する人材発掘・育成・創業支援、空き店舗活用事業

② まちなか賑わい創出事業

福山駅前の賑わい創出、回遊性向上に向けた賑わいづくりイベントとして実施し、駅前エリアの価値向上につなげていく。

- OPEN STREET FUKUYAMAの開催
- まちなかマルシェの開催
- まちゼミ福山の開催



「まちゼミ福山」
「まちなかマルシェ」

③ まちなか開業支援事業

- 空き店舗調査の実施
- 新規開業者等とのマッチング

④ 松永未来会議への参画

福山市が実施する地域の拠点づくりの一環として令和6年度に策定された、「松永駅周辺にぎわい再生ビジョン」に基づき組織された「松永未来会議」へ当所も参画し、福山市西部エリアの中心拠点である松永駅周辺の未来の姿(=ビジョン)を描き、共有することで、再生、活性化に向けた役割を果たす。

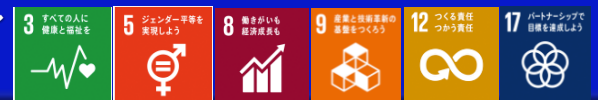


▲「松永駅周辺にぎわい再生ビジョン」抜粋



松永未来会議ワークショップ▶

VI. 組織運営基盤の強化と会員サービスの充実 ～会員拡大、情報発信力強化、会員サービスの充実と「オール福山」「バイ福山」の実現～



(1) 会員拡大

① 会員増強運動の推進

運営基盤の原動力である会員の拡大に向け、情報発信等を通じて、事業活動に対する理解と賛同が得られるよう、引き続き、議員・職員一丸となって会員増強運動に取り組んでいく。

- 会員拡大に貢献した、議員、関係団体等を表彰することで、会員獲得機運の醸成を図り、会員拡大を一層強化する

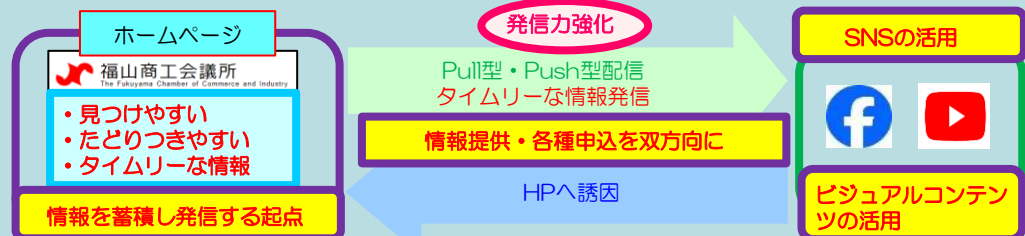


▲会員拡大に貢献した議員に小丸会頭より感謝状を贈呈

(2) 情報発信力強化

① インターネットを活用した情報発信力強化事業

インターネット、SNSを活用しタイムリーな情報発信や、動画を活用した情報発信を行い、会議所活動の広範な周知と会員の利便性向上に取り組む。



(3) 創業永年会員・優良従業員表彰

永く事業を継続する会員事業所、会員事業所へ永年勤続する従業員や功績顕著な従業員を商工会議所会頭から表彰することで、地域への貢献として称える本事業は、会員事業所からの好評を得ており、内容の充実・強化を図りながら継続し実施する。



(4) 会員交流会

商工会議所活動の理解と周知、新規顧客の発掘、商品PRの場として開催し、販路開拓のほか、会員事業所同士の交流促進に資する会員交流会を実施する。



(5) 各種共済制度の加入促進

会員事業所の福利厚生充実ならびに当所の財政基盤強化のため、当所独自の「福の山共済」のほか、企業の防衛に役立つ日本商工会議所の団体保険制度(業務災害補償プラン・ビジネス総合保険制度他)の加入促進を図る。

- 生命共済制度「福の山共済」の加入推進
- 特定退職金共済制度の加入推進

(6)女性会

①子育て支援事業の実施

福山市の花である「ばら」を使った手作りのポプリを市内の幼稚園に寄贈し、園児に「ばら」に親しむ機会を作り、ローズマインドを広めるとともに、情操教育の一環として活用していただくため実施する。



▲子育て支援事業

②例会・研修会・視察会等の開催

総務運営・広報・政策推進・地域活性の4つ委員会が活動を企画し、会員の啓発、育成、研鑽や、子育て支援、青少年育成、女性経営者の資質向上のための活動を展開する。



▲企業視察会▶

(7)青年部

①「福山城下冬まつり」等、地域活性化イベントの開催

福山市のシンボル福山城を活用し、人出が減少する冬季に若手経営者ならではの趣向を凝らしたイベントを展開し、福山市中心部の賑わい創出を目的に開催する。併せてY E G活動をPRし認知度向上を図る。



▲福山城下冬まつり

②若手起業家育成事業ジュニアエコミーカレッジの実施

小学校5・6年生を対象に商売体験プログラムを開催する。模擬株式会社を設立し、計画立案、資金調達、商品開発、販売実践、納税のプロセスを通じ、会社経営のポイントごとに話し合い、決定、実践を体験することで、事業運営に対する興味を湧出し、地域を担う子どもたちの中から、将来の起業家が育成されることを目的に実施する。



▲ジュニアエコミーカレッジ

(8)部会・委員会活動の活性化

正副部会長懇談会で業界の状況や意見・要望を聴取する。また、正副部会・委員長との緊密な連携のもと活動を展開し、商工会議所活動の活性化や意見・要望活動を行う。



▶正副部会長懇談会

(9)商工会議所会館再整備

老朽化する商工会議所会館の再整備について、現下の状況を踏まえ、必要な機能の整備などについて、最適な選択を行うため、コンストラクションマネジメント会社を活用し、地域社会に貢献する会館の再整備を目指す。



(10)運営基盤の強化

商工会議所会館を適切に維持管理し、テナント誘致、貸会議室利用の促進を図り、財政基盤の強化に資するとともに、適正な施設整備を図ることで、研修・セミナー、展示会・見本市・商談会などで中小企業・小規模事業者の利用を促進し、地域経済活性化に資する。



▶101会議室で開催された当所主催の新入社員セミナー

持続可能な地域の構築を見据えた事業展開の指針

～SDGs 17の目標を念頭に、次代を担う小・中・高・大学生に当所事業活動への参画を促し、次世代の地域活性化の担い手を育成する～



◆次世代の育成支援(新規)

当所の事業はSDGs17の目標との親和性が高く、引き続き各種事業活動の指針とし事業を展開していく。とりわけ次世代を担う子ども、若者が当所の活動に積極的に参加する仕組みを構築し、「地域」との関わりを様々な形で「体现」することで、地域活性化の取り組みが世代を超えて繋がるものとし、持続可能な地域社会構築の担い手を育成する。



▲女性会と小学生が共同で「ばらのポプリ」を作成



▲「OPEN STREET FUKUYAMA」にスタッフとして参加する大学生



▲専門学校生が「納の浦 de ART」のネットでの情報発信を支援



▲当所の橋渡しにより市立一ツ橋中学校とロシア共和国アリートウス ヨードピングギムナジウムが教育連携



▲▶(上)福山邦楽器製造業(協)が小学生に「福山琴」出前授業を開催



(右)「少年少女発明クラブ」が市内企業を訪問

商工会議所の事業活動は多岐にわたり、さらに各種団体と連携を図ることで、国際交流、地元企業の見学、伝統産業の振興、地域活性化事業など、小・中・高・大学生が様々な形で商工会議所のミッションに関わる機会を提供できる。この特性を生かし、彼らが将来、「地域との関わり」や「職業の選択」を考える際の手がかりや原体験を作り、地域活性化を担う次世代を育成する。